

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会のご案内

第548回北九州地区小児科医会7月例会

日時：2018年7月21日（木）17:20～

場所：ホテルクラウンパレス小倉

一般演題：「初発症状として歯肉腫脹を認めた慢性非細菌性
骨髄炎の1例」

演者：産業医科大学 小児科 五十嵐 亮太 先生

一般演題：「食物アレルギーに対するエピペンの使用経験
について」

演者：北九州市立八幡病院 小児科 小野 佳代 先生

特別講演：「日常診療で免疫不全患者が疑われ専門医に
紹介すべきポイント」

演者：筑波大学 医学医療系
小児科学 教授 高田 英俊 先生

第548回北九州地区小児科医会9月例会

日時：2018年9月20日（木）19:00～

場所：商工貿易会館

演題：夜尿症関連の演題です。

その他講演会などのご案内

第414回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2018年7月19日（木）19:00～

場所：国立病院機構小倉医療センター
地域医療研修センター

演題：歴史ある当院での先天性心疾患に対する外科治療

演者：JCHO九州病院 心臓血管外科 部長 落合 由恵先生

その他講演会などのご案内

産業医科大学カンファランス・セミナー

7月産業医科大学小児科セミナー

日時：2018年7月12日（木）18:00～

場所：産業医科大学大学2号館3階 2208教室

演題：「脊髄性筋萎縮症の最新知見」

演者：産業医科大学小児科
五十嵐 亮太先生 福田 智文先生 石井 雅宏先生

※8月はカンファランス、セミナーともにお休みです。

保険診療メモ

病名についてのお願い

コンピュータを利用した保険審査の工程表が発表され、この4年間でレセプトの9割をコンピュータチェックで審査完了する計画が進んでいます（政府の規制改革推進会議の提言による）。ここで大きな役割を担うのが傷病名のコード化です。大病院では未コードが10%未満であれば加算点数も新設されています。診療所においても、そろそろコード化に対応し、正しい傷病名を使用する準備をしておく必要があります。

1) 気管支喘息と喘息性気管支炎をはっきり区別してください

この件に関しては、平成8年、11年に保険診療メモとして先生方にはお願いしてきたところですが、未だに区別をされていない先生がおられますし、この間に新規開業された先生もおられます。そこで改めてお願いする次第です。

今回の点数改正で小児科外来診療料（従来のまるめ）、小児かかりつけ医診療料では、小児抗菌薬適正使用支援加算（80点）が新設されましたが、気管支喘息は基礎疾患ありとして、同日に「気管支喘息」の病名が併記されている場合には算定できません。安易に「気管支喘息」の病名を付けることは不利になります。

一方、これまでも「喘息性気管支炎」病名で特定疾患療養管理料を算定している場合や、ロイコトルエン受容体拮抗剤（モンテルカスト細粒など）、ステロイド喘息用吸入薬、クロモグリク酸ナトリウム吸入液など「気管支喘息」のみに適応のある薬剤を使用している場合などは保険者から厳しい異議の申し立てがあります。コンピュータチェックになると、これらの状況は「喘息性気管支炎」の病名では査定の対象と判断されると思われれます。今後は審査でも可能な限り区別をしていく方針です。

2) 学校検診（検尿異常）はコメント欄にその由をお書きください

学校検尿で異常を指摘されたお子さん以外では、「血尿（または蛋白尿）」の病名だけでC3やIgAは認められません。学校検尿異常者は小児科ばかりでなく内科にも受診しますし、他の診療科が併設されている診療所の一部では、小児科以外の主たる診療科の専門医が審査している場合もあります。学校検尿異常のマニュアルにあるルーチン検査の範囲で行われている場合であっても、それが判るように適応欄に「学校検尿で異常を指摘された」などのコメントをお願いいたします。

3) 皮膚炎（湿疹）には範囲・部位を記入してください

皮膚科では範囲や部位の記載がないレセプトはほとんどないと聞いています。外用薬が最小規格であれば、現在のところ皮膚炎（湿疹）のみの傷病名でも認めています。複数の外用薬、量の多いものでは返戻の対象となります。アトピー性皮膚炎でも、治療範囲が広い場合には「全身性」や「重症」などの接頭語を考慮してください。

軟膏処置は100平方センチ未満の場合は基本診察料に含まれますが、それ以上の範囲で軟膏処置料を算定する場合には範囲・部位の記載は必須です。

4) 中耳炎・肘内障は左右（両）の区別をしてください

耳鼻科では中耳炎の接頭語として「左」「右」「両」が必ず付記されています。保険請求だけでなく、日常診療の場においても診察や処置の際にカルテに部位を記載しておくことは不可欠と思われれます。レセの提出の際にも左右の別の転記ををお忘れなく。

肘内障整復術は手術の項で算定しますが、左右の別はきちんと記入してください。

これまで小児科では当たり前のように許されていた傷病名の記載法が、各専門領域の知識を盛り込んで全医療機関を一律に審査するコンピュータチェックでは通用しなくなる可能性があります。

多数の返戻を避けるために早めの準備をお願いいたします。

（福岡県小児科審査員連絡会）

役員会報告 (7月5日：木曜日)

会員異動

★勤務医入会

【戸畑共立病院】小児科・小児外科 有馬透先生
(7月1日付けで入会)

【北九州市立八幡病院】西山和孝 (諏訪赤十字病院)
(7月1日付けで入会)

協議事項・報告事項

- ① 第55回北九州地区小児科医会総会 (平成31年1月20日)
特別講演として熊本大学小児科教授 中村公俊 先生に
お願いし承諾を得ています。
- ② 平成30年度「母子保健功労者表彰」
坂口祐助先生を推薦しています。
- ③ 平成30年度「福岡県母子保健家族計画事業における
功労者知事表彰」
高橋保彦先生を推薦しています。
- ④ 8月の役員会は今年は見合わせることにしています。
- ⑤ 福岡県小児科医会総会
7月7日 (土) 16:00～ 会場；ホテルオークラ福岡

委員会報告

1. 学術報告：神菌淳司

今後の講演会の予定です。講演会一覧参照ください。

7月例会 産業医大例会

8月はお休みの予定です

9月20日に商工貿易会館にて夜尿症関連の予定です。

10月18日に商工貿易会館にて産業医科大学の大和教授に
受動喫煙関連講演を行って頂く予定です。

11月15日はワクチン関連の予定です。